



○ 色は華やかなこの季節。でも、森の中はシ——ン……。耳を澄ますと、何やらカサコソと

落ち葉を掻いてるような音が聞こえてきます。他にも、かすかに色んな音が……。 aiko.

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka : The Nature Interpreter Society of Fukuoka)

代表：田村耕作／事務局長：小野 仁

編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子／会計：宮原俊彦

〒814-0113 福岡市城南区田島3丁目7番14号

田村の自宅内 TEL : 090-8220-6160

URL : <http://www.kurabird.com/>

掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

★都市公園で自然観察会★

春日公園での自然観察会(143回)

日時 11月18日(土) 10時から12時

【連絡先】 担当：田村 耕作

TEL 090-8220-6160 [田村の携帯]

注意 各団体とも、新型コロナウイルス感染拡大や様々な状況により、下記の予定も当日でも変更になることがあります。

詳しくは各団体にお問い合わせください。

日本野鳥の会 福岡支部 主催

※一般参加費：300円（中学生以下無料）

11月19日（日）12月17日（日）
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時 間：9:00～12:00
集 合：天拝山歴史自然公園
問合せ：090-7165-5026（重松尚紀）

11月26日（日）12月24日（日）
久末ダム探鳥会（福津市）
時 間：9:00～12:00
集 合：久末ダム多目的広場横
駐車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

11月5日（日）12月3日（日）
今津探鳥会（福岡市西区）
時 間：9:00～12:00
集 合：玄洋高校西側道路
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

12月9日（土）
大濠公園（福岡市）
時 間：9:00～12:00
集 合：ボート乗り場前
問合せ：092-834-8644（持永俊行）
注）11月は公園の都合で5日に変更。

12月10日（日）
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時 間：9:00～12:00
集 合：JR 和白駅前の公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

12月5日（火）
県営春日公園（春日市）
時 間：10:00～12:00
集 合：音楽堂ステージ側（第5P）
問合せ：090-8220-6160（田村耕作）

日本野鳥の会 筑後支部

11月13日（日）
時 間：9:00～12:00
集 合：膿施山公園すいせん橋
問合せ：090-4480-9104
（大牟田グループ 中嶋）

福岡植物友の会

11月19日
許斐山（福岡県福津市）
詳細は問合せください。
佃 昇（092-662-2983）

三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

12月2日（土）
集 合：九州歴史資料館
第1駐車場
時 間：9:30～12:00
（早めに終わるかもしれません）
問合せ：092-920-3072
参加費：大人 200円

コロナ対策：ブログにて確認
ブログ 「三国丘陵の自然を楽しむ会」で

[検索](#)

久留米の自然を守る会

2024年2月10日（土）
総会と講演会
集 合：くるめウス
時 間：13:30～
問合せ：0942-43-7959（河内俊英）

テイカカズラ実 三国・松永

和白干潟を守る会

11月25日（土）
定例会議
時 間：12:00～14:00
集 合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

11月25日（土）
クリーン作戦 と自然観察会
時 間：15:00～17:00
集 合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：090-1346-0460（田辺スミ子）

ミヤマホオジロ 三国・松永

三国丘陵の自然を楽しむ会 総会の様子

2023年10月 私のデジカメ日誌より 本のむし

今回は、10月1日(旧暦8月17日)～10月31日(旧暦9月17日)までのデジカメ日誌です。(文・写真 本のむし)



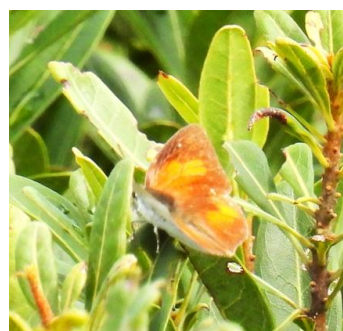
10/3(旧 8/19)春日市春日公園
サンカクチバ(ヤガ科)に出会った。元は沖縄の蛾と言われたらしいが、温暖化の所為か・・・



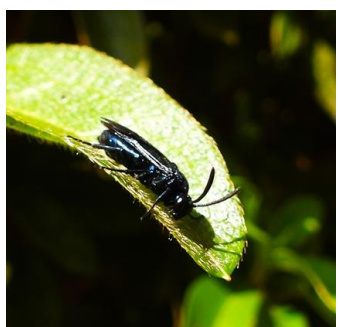
10/5(旧 8/21)筑紫野市天拝坂
四王寺・大原山の上に、笠雲？
レンズ状層積雲か？地上は風速4m。上空の気流は別物か



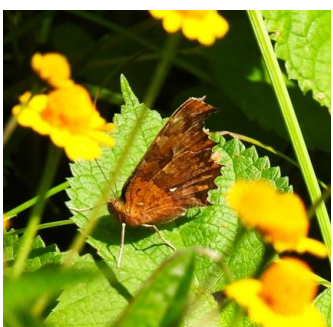
10/8(旧 8/24)筑紫野市天拝坂
フヨウの花にホウジャクの仲間がよく来る。ハチドリは漢字は蜂雀で、音読みすればホウジャクだ。



10/9(旧 8/25)筑紫野市天拝坂
ウラギンシジミのオスである。幼虫の食草はマメ科だが、最近ヤマモモの樹で何頭も良く観る。



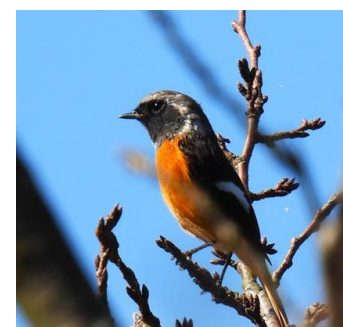
10/10(旧 8/26)筑紫野市天拝坂
光を受けて腹がきれいな群青に輝く。セイボウかハバチの仲間だろうか？



10/12(旧 8/28)筑前町畑嶋
学名の c-aureum は黄金の C の意味らしい。写真の白い点が、その c である。黄金は表翅の色か。



10/12(旧 8/28)筑前町畑嶋
マユタテアカネが交配していた。この状態をタンデムと言うらしいが、バイク二人乗りのことらしい。



10/12(旧 8/28)小郡市干潟
この冬最初のジョウビタキ・オスに出会った。自宅付近での初認はこの後、10月23日だった。



10/12(旧 8/28)小郡市干潟
セリ科ミツバに産卵するキアゲハ。幼虫の食草で棲み分けているのは凄いことだと思う。



10/12(旧 8/28)筑紫野市天拝坂
初めオナモミかと思ったが葉が違う。カヤツリグサの仲間。外来のヒメミクリガヤツリに似ている。



10/19(旧 9/5) 筑紫野市天拝坂
今年生まれのオス。この子はあまりキーンキーン言わない。縄張り invasiveness を侵すものが居ないのか？



10/21(旧 9/7) 春日市春日公園
ベニトンボ。元は台湾以南の南方種。今年は、春日で良く観るらしい。これも温暖化の証しか？



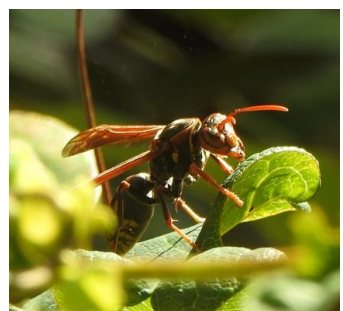
10/21(旧 9/7) 春日市春日公園
岩に付いた地衣類。ホシスイボゴケだろうか。灰白色のひび割れた地面に墨色の点が散っている。



10/21(旧 9/7) 春日市春日公園
小さなトラペラー。コサメビタキ。これから東南アジア迄。温暖化が進むと、こゝで越冬もありかな。



10/22(旧 9/8)筑紫野市天拝坂
久しぶりに庭にフジバカマが復活した。2006年にアサギマダラを再捕獲したのが昨日のようだ。



10/26(旧 9/12)筑紫野市天拝坂
セグロだろ。アシナガバチが1匹、庭木の間をうろうろしている。女王様？

春日公園自然観察会 令和5年10月21日(土)【参加者数】6人【担当】、田村耕作

観察は、自然あそび館～芝生広場・調整池～ショウブ池～自然風庭園～自然あそび館で歩いた。

観察内容 晴れ、15℃で開始。鳥、実り、蜻蛉など、秋本番の様子を中心に観察した。

植物 ソメイヨシノ(紅葉)、ガマ、ヒメガマ、メリケンムグラ、ユズリハの実、センダン、ギンナクヌギ、ツブラジイ、トウカエデ、サンシュユ、シャリンバイ、ヤマノイモ、ラクウショウ(沼杉)、トウネズミモチ、アキニレ、スズカケノキ、サンゴジュ、ギンモクセイ、モッコク、イスノキ。

昆虫 ベニトンボ(♂♀)、マユタテアカネ(♂♀)、ショウジョウトンボ(♂♀)、ウスバキトンボ、ギンヤンマ(♂♀)、リスアカネ、コノシメトンボ。

野鳥 マガモ、コサギ、カワセミ、メジロ、キセキレイ、ハクセキレイ、キジバト、スズメ、ムクドリ、シジュウカラ、ヤマガラ、コゲラ、コサメビタキ、ジョウビタキ、ヒヨドリ、カワラヒワ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、カワラバト、アヒル

感想(参加者の声)

- ・天気も観察会に最適で、紅葉も少し進んで、気持ちのいい時間でした。
- ・渡りのコサメビタキを近くで観察でき、蜻蛉も思ったより出会えました。
- ・池でたくさんのマガモを観察できた。
- ・考えていたよりたくさんの鳥、蜻蛉、実を付けた樹木を観察できた。
- ・ヒイラギモクセイの花、サンゴジュの実が美しかった。
- ・植え込みのツツジに棚網を張ったクモが、音叉の振動に反応して現れたことが面白かった。

ソメイヨシノの紅葉を見て観察開始



色の違いに注目



カワセミの飛び込みに出会う



コサメビタキ



ツブラジイの実



赤い実が目立つサンシュユ



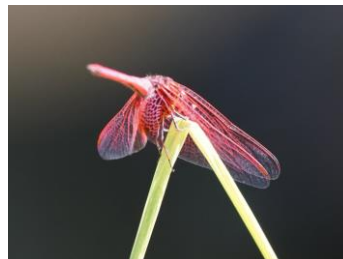
音叉の振動に反応したタナグモの仲間



ヤマノイモのムカゴ



ベニトンボ



以上

会員からの投稿(1) 山本廣子 内容は次頁

11/26 日

11:00~15:00

和白干潟・海の広場 (福岡市東区和白4丁目)

《参加無料》小雨決行、雨天中止



ハマニシクの穂が出る頃に

プログラム

- 11:00~11:20 開会式・ラムサール宣言
- 11:20~12:00 バードウォッチング
- 12:00~12:35 自然あそび
- 12:40~13:15 植物観察
- 13:20~14:00 干潟の生物観察
- 12:30~14:00 ステージ (紙芝居など)
- 14:00~14:15 一言アピール
- 14:15~14:25 心を合わせて
- 14:30~14:50 干潟の掃除
- 11:20~14:50 お魚水そう展示
- 11:20~14:50 写真展・パネル展
- ★ 11:30~14:50 模擬店
- 14:50~15:00 閉会式

●新型コロナウイルス感染防止対策をとって開催します！

主催／和白干潟まつり実行委員会

●和白干潟を守る会

●グリーンコープ生協ふくおか福岡東支部

■協賛／●日本野鳥の会福岡支部 ●博多湾会議

■お問い合わせ●松尾 090-9651-8489

マリンワールドの
お魚水そう

もあるよ！

どんな鳥がいるかな？

干潟の生きものと
遊ぼう！



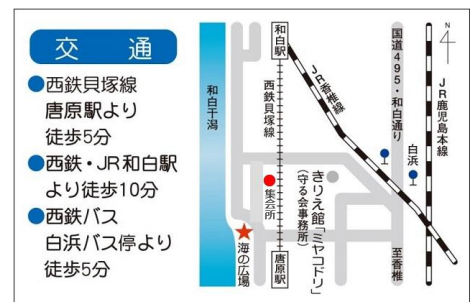
第35回



和白干潟まつり

和白干潟の自然を楽しもう！

ラムサール条約登録をめざして！



駐車場なし

公共交通機関をご利用ください。

★水筒・長靴・敷物・を持って来てね！

ナナフシ 鳥に食べられ繁栄

⑤「ヨドリのぶんから回収したナナフシモドキの卵。硬いシユウ酸カルシウムの殻に覆われている」
ナナフシモドキが鳥に食べられることで長距離分散を実現するイメージ図イラストレーターの安斎俊さん画、いずれも末次健司・神戸大教授提供



餌として鳥に食べられる昆虫はいが、「ナナシモトキ（ナナシ）」は食べられても卵だけ生き延び、長距離分散果たしている動物を確認した。神戸大などの研究チームが発表した。チームの末健司・同大教授、生熊孝は「食べられてしまえば、昆虫は孫もつとも一巻の終わりと」という常識を覆す成果」と話す。

末次教授は生物の共生関係などを研究している。自ら動けない植物が果実を鳥などに食べられて分布を広げることにヒントを得て、同じ方法で分散する昆虫がいるのではと考えた。

卵は生き延び 長距離分散



①消化されない丈夫脂肪が移動した先でふ化した後卵で餌を取れる③母虫の体内の卵を本精卵でもふ化する。重為(重なる)——といった条件を満たす必要がある。これらの条件を満たすのが飛べない昆虫、ナナフシだ。ナナフシは木の枝草の葉のうに擬態する昆虫、羽はない。高い山や海を越えて自国を移動することは難しいとみられるが、国内は本州、四国、九州に分布する。某的にメスが単為殖で子孫増やし、卵の殻非常質に硬い、ユウ酸カルウムでできている。末次教授はこれまでの研究で、ナナフシの卵を目玉に食させ、そ

ているのは興味深い話です。
研究成果は英王立協会の学術誌 (<https://doi.org/10.1098/rspb.2023.1708>) に掲載された。【三股智子】

多いが、今回の分析では採集地点間の距離と遺伝子型にはっきりした関係は見られなかった。このことから、ナナフシの場合は自ら時間をかけて分布を広げるというよりも、鳥などを介して長距離分散している可能性が高いという。末次教授は「ナナフシは植物に擬態するが、分散方法まで似

れるという。

自力で長距離移動できない生物の場合、一般的には近くにいる個体同士のほうが遺伝的にも近い関係にあることが

のうちの一部の卵がふんち緒に出た後、ふ化するのを確認してゐる。

実際に卵が長距離移動しているかを確認するため、チリ合は本州と西国の18府県で、害虫の雌卵を採集し、遺伝型型名を調べた。その結果、最長で600km離れた埼玉県と山梨県で母から子に遺伝するミトコンドリアの配列が全く同個体が見つかった。カラスやヒヨドリに食べられたが、数百年かけて世代交代しつつ分布を広げたと考えられる。

会員からの投稿 (2) 窓ごしの自然観察 56 ～ 一期一会 30 ～

時として眠りが妨げられる程だった虫の音を聞くことがなくなって何年経つだろう、秋という季節も失せて行きそうな気配ですが、キンモクセイが香り、道路沿いのススキ、セイタカアワダチソウの波が視界を遮る頃となると、やはり秋。足元のリンドウが、朝日を浴びて花弁を開き、夕暮れ間近を教えるように閉じる。幾日もいく日も繰り返し目を楽しませてくれていま



す。束の間の貴重な時間！

(ダムサイト住人 2023/11/3 記)

事務局からのお知らせ

 会費振込について
会計年度は6月

会計年度は6月から翌年5月末までです。会員の皆様、2023年度会費を、各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。

年会費:2000 円 郵便振替口座:福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

 定例会に参加してみませんか？
次回の定例会は、令和5年1

次回の定例会は、令和5年12月8日（木）午後2時より事務局で行います。令和5年12月号の原稿は、12/5（火）までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。



編集後記 2023 年 10 月の定例発送会は、藤川渡と田村耕作が、それぞれの自宅で作業。

久しぶりにクチナシの実を見かけた。この薄い黄色の実を見ると、花の甘い香り、色染めが浮かんできた。大分県臼杵の郷土料理の黄飯に用いられ、栗きんとんや沢庵、ラーメンの麺の着色に利用されることが知られている。また、花ことばには、「喜びを運ぶ」とか「とても幸せです」があるとのこと。いい事あるかな。

篠栗町 九大篠栗公園にて 撮影：田村耕作